

# 法人開催は、地域開催と並ぶツアーの柱



地域開催の実績が積み重ねるにつれて、学校法人や企業からの開催希望も次第に増えていった。2~3日のフルワークショップの開催が難しい場合も、1日の体験ワークショップを実施し、学校全体の理解を得た結果、翌年以降にフルワークショップを取り入れていただく学校も多くある。おとすれた多くの学校から「また来てほしい」という声をいただき、さらにはツアーを経るごとに新たな学校でのワークショップが実現している。こうした企業の従業員や学校の生徒を対象とした法人開催は、今では地域開催と並ぶツアーの柱となっている。

2~3日間のプログラムの他に、働く大人を対象にした体験ワークショップ、児童養護施設の子どもたちとのワークショップ、日頃のツアーを支えるボランティアを対象にしたワークショップなど、様々な形で1dayワークショップも展開している。



**小学校**

四條福学園小学校  
筑波大学附属小学校  
同志社小学校  
奈良英小学校など

**中学校**

育英西中学校・高等学校  
都立館野学園  
実践女子学園中学校・高等学校  
生光学園中学校・高等学校  
聖望学園中学校・同志社中学校  
名古屋石田学園星城中学校  
西大和学園中学校・高等学校  
広尾学園中学校・高等学校など

**高等学校**

飛鳥未来高等学校  
ECC学園高等学校  
大倉学園高等学校  
佼成学園女子中学校・高等学校  
さくら国際高等学校東京校  
常翔学園中学校・高等学校  
第一学院高等学校  
学校法人山口学園など

**学校合同**

学校法人湘南学園  
聖光学院中学校・高等学校  
学校法人文理後援会など

※小・中・高・中など  
各一法人での開催の学校で  
合同開催しました。

**特別プログラム**

サマーキャンプin朝霧  
Asian Kids International over18  
学校合同企画、企業合同研修  
働く大人のためのワークショップ  
教師と保護者のためのワークショップ  
中高大学生のためのワークショップ  
YAI(大学生企画、運営)など

**専門学校  
短期大学・大学**

ESPミュージカルアカデミー  
大阪樟蔭女子大学、大阪信愛学院専門学校  
環太平洋大学、京都造形芸術大学  
慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス  
神戸山手短期大学、聖学院大学  
洗足学園音楽大学、東北芸術工科大学  
British Columbia Collegiate  
学校法人山野学院など

**企業・団体**

公益財団法人岡田文化財団  
河内長野市国際交流協会  
KQJ Group株式会社(キッザニア)  
キャンプ地間(在日アメリカ軍基地)  
ゴールドマン・サックス証券株式会社  
システム・リンク合同会社  
株式会社プロジェクトALIVE  
一般社団法人広島青年会議所  
公益財団法人 米日カウンシル  
株式会社三遊東京UJ銀行  
一般社団法人吉野川青年会議所など

**塾**

株式会社イーオン  
総合教育機関ECC  
株式会社東京個別指導学院  
株式会社ベネッセコーポレーション  
株式会社明光ネットワークジャパン  
など



# ヤングアメリカンズを今年も東北へ



## 5年間で2万5千名がYAと出会う

YAは2011年3月11日、東日本大震災が発生したとき、成田国際文化会館でワークショップの準備をしていました。幸いキャストは無事でしたが、ワークショップは中止になり、その後ジャパンツアーは中止になりました。それから半年後、東北の子どもたちに笑顔を取り戻したいとYAの精鋭キャスト13名が東北に向かいました。この13名はジャパンツアーで得られた喜びを、東北の子どもたちに返したいと東北に行くことを志願してくれたキャストたちです。その翌年から、たくさんのおみなさまのご支援によって東北ツアーは継続し、発展しました。この5年で岩手、宮城、福島の東北3県の24市区町村でワークショップを実施、のべ2万5千名の子どもたちと先生がたが、YAから復興への勇気と情熱を受け取りました。

## 厳しい状況が続く、YAを必要とする地域に

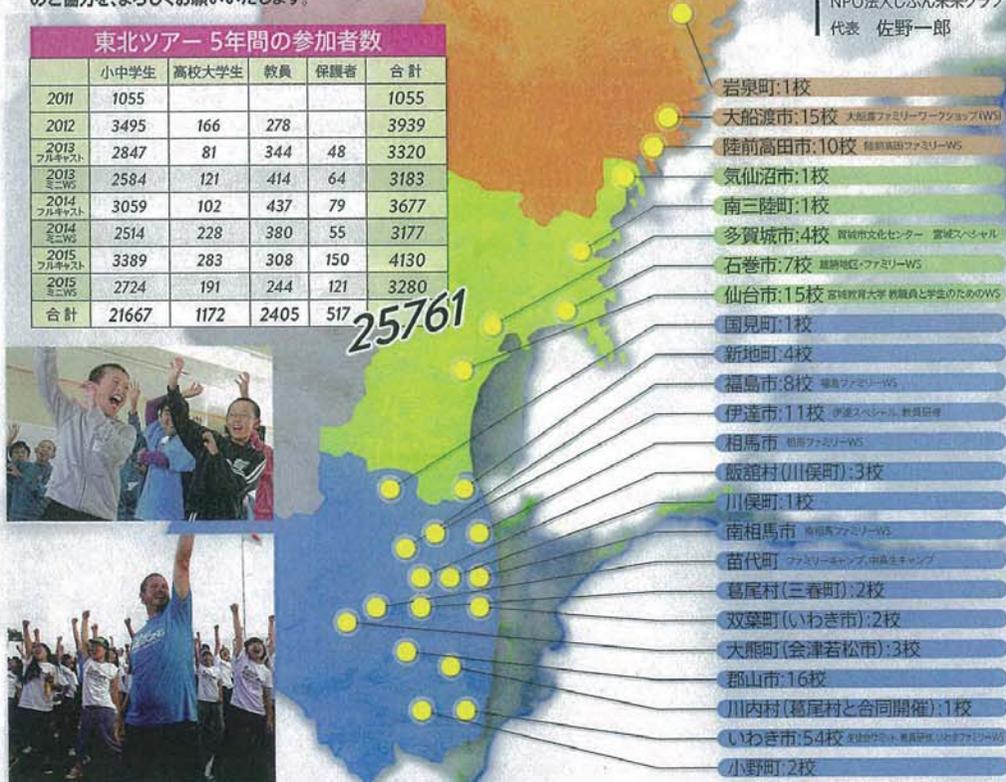
震災から5年が経ち、東北の復興は確かに進展した一方、日本全体ではメディアの扱いも減少し、復興支援のムードは減退してきました。しかし東北地方では未だに避難者は13万5千名以上、20万5千名以上の方が仮設住宅に暮らしています。私たちが、毎年訪れている福島県いわき市では、相双地区(福島第一原発事故の被害の大きな地区)から1万5千名以上の女性たちが避難生活を送っており、子どもたちは震災後5年経っても未だに自宅に戻れません。大船渡市や陸前高田市の小中学校の9割の校庭には仮設住宅が建ったままで、校庭は未だに使用できません。さらに陸前高田市は2割以上の市民が仮設住宅で暮らしており、自転車で通れる道路はなく、子どもたちが自由に外で遊ぶこともできません。宮城県多賀城市や南三陸なども仮設住宅から学校に通う子どもたちの数はほとんど減少していません。

こうした未だに厳しい環境に置かれた子どもたちを支援するために、今年もヤングアメリカンズを東北に届けます。みなさま何卒寄附へのご協力を、よろしくお願いたします。

東北ツアー 5年間の参加者数

	小中学生	高校大学生	教員	保護者	合計
2011	1055				1055
2012	3495	166	278		3939
2013 フルキャスト	2847	81	344	48	3320
2013 ミニWS	2584	121	414	64	3183
2014 フルキャスト	3059	102	437	79	3677
2014 ミニWS	2514	228	380	55	3177
2015 フルキャスト	3389	283	308	150	4130
2015 ミニWS	2724	191	244	121	3280
合計	21667	1172	2405	517	25761

NPO法人じぶん未来クラブ  
代表 佐野一郎



# HISTORY & PERFORMANCE SHOWS

*The Young Americans*

## 若者の素晴らしさを世界中に伝える

ヤングアメリカンズは、1962年、若者の素晴らしさを音楽を通して社会に訴えたい、というミルトン・C・アンダーソンの願いをこめて設立された非営利団体である。初めて合唱に踊りをつけた団体としてヤングアメリカンズは注目を浴び、60年代には、ピーング・クロスビーやエド・サリバンなどとアメリカの主要な音楽テレビ番組での共演をきっかけに、世に広く知られることとなる。70年代には、ハリウッドボウル交響楽団との公演、ワシントン記念塔の下に設置された野外特設舞台でのアメリカ建国200周年記念祝賀パフォーマンス等を実施。さらに国内外のコンサートツアーに乗り出した。第1回目の来日は1968年に果たしており、それ以降1992年までの間に計9回、ジャパンツアーが組まれた。

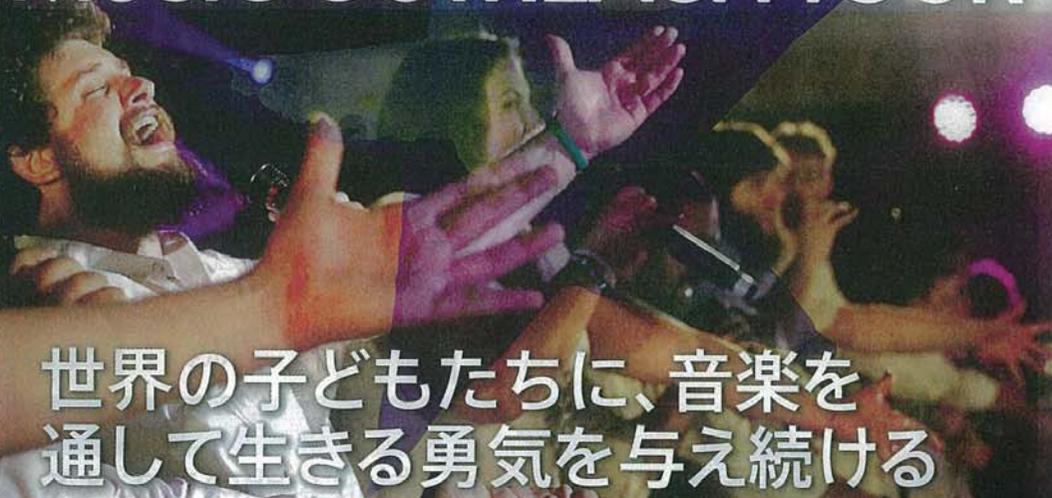
## 感動的なショーの数々

ヤングアメリカンズ結成から今年で54年。今もなお、彼らはハワフルかつ感動的なパフォーマンスショーで世界中の人たちに音楽と若者の素晴らしさを伝え続けている。30年以上続く伝統的な行事のひとつ、クリスマスショーは、ロサンゼルス近郊のラミラダ・シアターで実施され、200名強のキャストによる公演は1000席近い客席が毎回満席となるほどの人気である。同じく30年以上続いているのは、アメリカ有数の高級リゾート、ミシガン州のボーイ・ハイランドで実施されているディナーショー。約30名のキャストがレストランで給仕として働きながら、ステージに上がってパフォーマンスを見せる。2013年からカリフォルニアで始まった公演「Broadway Tonight」では、新人からOB・OGまでの多彩なキャストが、ブロードウェイのナンバーを歌い、踊っている。日本でも2006年より、アメリカ音楽とブロードウェイ・ミュージカルへの感謝をコンセプトに、ツアーの最後を飾る公演として、「トリビュート」と呼ばれる2時間のショーをおこなっている。毎公演、たくさんのアウトリーチ参加者が応援に駆けつけてくれ、笑いあり、涙ありの感動的な舞台に仕上がっている。



THE YOUNG AMERICANS

# THE INTERNATIONAL MUSIC OUTREACH TOUR



## 世界の子どもたちに、音楽を通して生きる勇気を与え続ける

ヤングアメリカンズは1992年から「ミュージック・アウトリーチ」と呼ばれる、音楽を通した教育活動をスタート。学校やコミュニティを訪れ、小・中・高校生たちと一緒に、わずか3日間(もしくは2日間)で1時間の歌とダンスのショーを作り上げる活動である。第1幕は、3日間頑張った参加者に対してヤングアメリカンズが全力のショーをプレゼントする。第2幕では参加者の子どもたちがヤングアメリカンズと共演し、3日間の成果を家族、友達、先生方や学校関係者に発表する。世界共通言語である音楽を通して数百名の子どもたちが共に学び、お互いの強みを尊重し、自分の可能性を発掘するプログラムとなっている。この活動は今では全米45州に拡大、現在ではアメリカ国内で年に2回ツアーが実施されている。2002年にはヨーロッパでアウトリーチを開始した。最初はイギリス、続いてドイツへ。今では年に3回のヨーロッパツアーがおこなわれている。ロシアや中国にもアウトリーチは広がっており、2013年には初めて南アフリカでのワークショップを開催。これまで28カ国、75万名以上がアウトリーチを受講している。



### USツアー

ツアーは、1-3月と9-11月の年2回実施に加え、夏におこなわれる5日間のサマーキャンプの活動が拡大している。

### UKツアー

イギリス人の元教師サイモン氏が招致。毎年2-4月に実施されている。イングランド、スコットランド、ウェールズ、北アイルランドの都市を回るツアー。

### ヨーロッパツアー

ドイツ人の元教師ノートン氏が招致。4-6月と9-11月の年2回、ドイツを中心としたヨーロッパ大陸でツアーが開催されている。

### ジャパンツアー

NPO法人じぶん未来クラブが主催。2011年より1-4月、4-8月、9-11月と、年3回のツアーが実施されている。

# JAPAN TOUR

## 発展する 日本でのアウトリーチ活動



### 保護者の口コミで開催地が増加

ジャパンツアーは2006年から始まった。ヤングアメリカンズ(YA)の教育活動は、欧米では主に学校でおこなわれている。しかし、2006年当初は、誰もYAを知らないなかで、活動を理解し、学校生活のスケジュールに組み込んでもらうことは難しかった。そのため、地域の学校やホールを借りて、公募で参加者を集める形をとった。ツアーを重ねていくうちにヤングアメリカンズは各地で大きな話題となり、参加した地域の保護者や学生たちが「このプログラムに協力したい」とボランティアとして活動を支えるようになっていった。さらに遠方から参加された保護者のなかからは、「ぜひ地元でヤングアメリカンズを開催したい」という声が上がリ、その方々の献身的な努力によって開催地域は広がっていった。こうした、広く参加者を募る開催形式は「地域開催」と呼ばれている。

### 多くのボランティアが支える地域開催

地域開催においては、会場子どもたちの安心・安全を守る地域サポーターや学生サポーター(KS)、ワークショップの期間中、ヤングアメリカンズを受け入れていただくホストファミリー、ワークショップの広報をお手伝いいただくチラシ配布サポーターなど、多くの方の支えが不可欠となっている。2015年はのべ2000名以上ものボランティアがツアーに関わった。これほど多くの方々の支えがあるのは、世界中でおこなわれているツアーの中でもジャパンツアーだけである。



開催地域 18県64市区町村

ワークショップ回数 237

参加者数 46419



### 自信を与えてくれる 魔法のプログラム

「3日で何が起ったのか!」

YAとの衝撃的な出会いから4年、この素晴らしいプログラムを川口の子どもたちへどうしても届けたい!この思いから松本清子さん、和田陽子さんと共に手探りの中から始まった招致活動!他地域サポーターの方のアドバイスや行政の協力を得て、この夏、念願のYAが川口にやってくる!何度見ても何度体験してもそこら中にちりばめられている感動に涙。うまくできなくてもお互いを認め合う大切さや生きる力、自信を与えてくれる魔法のプログラムに心を奮い立たされるのです。1人でも多くの子どもたちや大人がYAと出会えるようこれからも取り組んで行きたいです!



川口地域リーダー  
(2016年夏ツアー開催地)

松井 美保

STAFF

長崎県  
長崎市

福岡県  
北九州市

広島県  
広島市

兵庫県  
伊丹市  
神戸市

大阪府  
大阪市(城東区  
天王寺区)  
島本町、大東市  
高槻市

奈良県  
香芝市

愛知県  
豊橋市  
名古屋市

三重県  
四日市市

静岡県  
沼津市、浜松市  
富士宮市

神奈川県  
伊勢原市  
川崎市(川崎区、宮前区)  
秦野市、藤沢市  
横浜市(青葉、関内、都筑  
鶴見、みなとみらい)

東京都  
足立区、荒川区、江戸川区  
葛飾区、北区、清瀬市、小平市  
狛江市、渋谷区、新宿区(代々木)  
杉並区、世田谷区、中央区(日本橋)  
調布市、千代田区(丸の内)  
中野区、福生市、文京区  
三鷹市、武蔵村山市

千葉県  
浦安市、柏市  
千葉市、成田市

群馬県  
伊勢崎市  
太田市

茨城県  
つくば市

埼玉県  
上尾市  
さいたま市(大宮区)  
坂戸市、所沢市  
飯能市

滋賀県  
高島市

京都府  
城陽市  
長岡京市

### これまでの開催地域

山形県  
高島町、長井市  
山形市

### YAの100%以上の 情熱に感動

YAとの出会いは2014年の夏。全く情報を得ずに娘を参加させWSを見学ショーを観賞しました。あの2日間の衝撃は今でも忘れられません。YAは100%、いやそれ以上のエナジーを使い全力で子どもたちにふつつかっていきます。果たして自分は全力で子どもと向き合っているのか?子どもに素直な言葉を掛けているのか?YAの子どもたちに対する姿勢を目の当たりにし目から鱗が落ちました。何故かその帰り道、YAを長野に!長野の子どもたちに体験して欲しいと強く思う自分がいました。そして今夏、長野で初開催できることに……。どんな出逢いが待っているのか今からワクワクしています!



長野地域リーダー  
(2016年夏ツアー開催地)

立神 綾乃

STAFF

### 視野が広がって 見えてくる新しい「ジブン」

ヤングアメリカンズに参加して、もしかしたら今まで当たり前だと思っていたこと、できないと思っていたことが違って見えるかもしれない。その広がった視野は大きな財産であり生きる力だと思えます。それが「ジブン」なのかも、きっと参加していない周りのお友達へも影響して行くのでは。そして自分の殻をやぶって一步を踏み出そうとしている子どもたちを、周りのたくさんの方々が応援してくれている事も忘れてほしいです。初めて磐田市で開催するために本当に本当にたくさんの方々が力を合わせてくださっています。大丈夫、みんなが見守っているからね!



磐田地域リーダー  
(2016年夏ツアー開催地)

村田 久子

STAFF

